

更新

事業者名 一般社団法人ひのくにスマイルプロジェクト

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

子ども・地域食堂を通して安心・安全な居場所を提供する。またフードバンク活動を通し廃棄される食材のロスを減らす一役を担いたい。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	子ども・地域食堂の安定的な開催	継続して開催できるように各企業との連携を深めていく 連携企業や団体を2023年度29団体→2026年度35団体を目指す
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	フードバンク活動の推進	関連企業との連携を深めていき フードバンクとして2023年度年間4t→2026年度年間5tのフードロスの削減を目指す。
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	安心できる相談環境の整備	社会から取りこぼされる人を一人でも減らすために相談室1か所の設置、学校、行政とのパイプを作る。

<パートナーシップ>

現在熊本県下の29の企業・団体と関係があり、また行政とも密に連携を図り、受け皿を大きくしていく活動になるように努力する

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	子ども・地域食堂の安定的な開催	継続して開催できるように各企業との連携を深めていく 連携企業・団体35を目指す。	連携企業・団体数は29でありコロナ禍もあり企業としての方針が変わったりしたため予定よりもゆるやかな増加となった。
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	フードバンク活動の推進	関連企業との連携を深めていきフードバンクとして年間5tのフードロスの削減を目指す。	年間4tの削減を達成。コロナ禍の影響による減産等により、予定より寄贈数が緩やかになった。
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	安心できる相談環境の整備	社会から取りこぼされる人を一人でも減らすために相談室の設置、学校、行政とのパイプを作る。	臨時相談室は実施できたが常設相談室はまだできていない。学校には地域をつなぐ役目をするなど関係性は向上している。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。